

＊＊「さみのすごいに会いにいく」絆を深めた文化祭＊＊

10月25日(土)、第55回麻里布中学校文化祭が行われました。早朝から校舎いっぱいに歌声が響き渡り、「ゴールデングランプリを取ってシンフォニアに行きたい!」という熱い思いが伝わってきました。

いよいよ本番。トップバッターは1年2組。ピンと張り詰めた雰囲気の中、ステージへと上がっていく生徒たち。すべてのクラスのトップを切って合唱を披露することは、どれほど緊張したことでしょう。しかし、2組の生徒たちは堂々と、見事に歌い上げました。それが他のクラスにも勢いをつけ、4組、1組そして3組と、1年生らしいさわやかな合唱を披露しました。どのクラスの歌声からも、一人ひとりの一生懸命さと、全員の心が1つになった一体感が伝わってきました。結果として1組がゴールデングランプリに輝き、シンフォニア岩国で行われる岩国市・和木町合唱祭への出場権を獲得しました。質の高い合唱をめざして互いに切磋琢磨し、全力で取り組んだ経験は、生徒たちにとって一生の宝物となったに違いありません。



＊＊魅せました！学年発表！！～＊＊

今年度は、群読とパネルアートを融合させ、「1年生のすごい」をテーマに発表しました。1組は「極」、2組は「星」、3組は「心」、4組は「華」の文字を広告や折り紙を使ったちぎり絵で制作しました。本番では、ソロパートやクラス全体、学年全体の掛け声とともにパネルが掲げられ、臨場感のある発表になりました。また、準備期間は学年展示委員が中心となり、昼休みや放課後に台紙の貼り合わせや補修を行いました。この支えがあったからこそ、本番の成功につながったと思います。



～準備期間の様子～



～生徒の感想～

練習を重ねていくにつれてみんなが息を合わせて日々どんどん上達していくって、誰ひとり欠けてもこの歌は完成しなかったので、最終的にゴールデングランプリを獲ることができ、とてもいい思い出がこのメンバーで作れたなと思いました。

私にとって文化祭は最高の思い出になりました。1年2組だけアカペラで、とても不安でしたが、このメンバーだったから、アカペラでも最後までやり遂げられた気がします。最後の練習で円陣を組んだ瞬間から、みんなのやる気が変わったように感じました。このメンバー、このクラスでよかったと文化祭を通してさらに思いが強くなりました！！

クラスや学校の良さをたくさん見つけ、様々な出し物をみんなで楽しめた、最高の文化祭でした。合唱では惜しくもゴールデングランプリを獲ることはできませんでしたが、練習通りの合唱ができて、クラスの絆も深まったので、とても良い合唱コンクールだったなと思います。

今年の文化祭では、クラスのみんなで悔いの残らない楽しい合唱をつくれました。最後、どのような終わり方になるのかなと不安とどきどきがありました。ゴールデングランプリはそれなかったけど、団結力をより深められたから、良い終わり方だったと思いました。